共立女子大学大学院　文芸学研究科　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP 1
【客観性・自律性】
文学・芸術・メディアおよびそれらと関連する文化・思想・社会に関する深く広い研究をつうじて修得した学識にもとづいて、自らの主体的な判断により行動する倫理観とマネジメント能力を身につけている。

DP2
【課題発見・解決力】
最先端の知にアクセスするリテラシーと、専門分野に関する深く広く研究をつうじて修得した柔軟な批評精神にもとづいて、課題を設定し、課題解決のための方略を提案しうる論理的思考力を身につけている。

DP3
【リーダーシップ】
専門分野に関する対話的な研究をつうじて培った他者への想像力にもとづいて、他者と協働して、友愛の理念に立って市民社会の発展に寄与する能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

論文研究

CP 3
入学から修了までの指導教員による一貫した論文指導をつうじて、質の高い論文に結実するよう教育課程を編成する。必修科目として「論文研究」を配置し、修士論文執筆に際しての実際的な指導を行う。

論文研究

専門科目

CP 2
学部教育との継続性と専門性に配慮しつつ、近年の文学・芸術・メディアにおける教育研究の方向性と社会的要請を十分に勘案したうえで、教育課程を「日本文学領域」「英文学領域」「演劇学領域」「文芸学領域」の各科目群により編成し、各科目群における教育目標に応じた授業科目を適切に配置する。

【日本文学領域】日本文学に関する高度で総合的な研究能力を育成するために、日本の古代から近代までの各時代の詩歌・物語（小説）・言語などを取り扱う科目として「古代日本文学研究」「中・近世日本文学研究」「近代日本文学研究」「日本語研究」「漢文学研究」「書誌学研究」「日本文学基礎研究」を置く。

【英文学領域】英語、英米文学、英語学に関する高度な専門的知識および能力を育成するために「英語学研究」「イギリス文学文化研究」「アメリカ文学文化研究」「英語文学批評研究」を置き、英語によるライティング能力を育成するために「論文英語ライティング」を置く 。

【演劇学領域】演劇の理論と歴史に関する高度な専門知識と研究能力を育成するため、演劇の本質と西洋および日本の古典劇、現代劇などに関する科目として「劇文学論」「中・近世日本演劇研究」「近・現代日本演劇研究」「英米演劇研究」「ヨーロッパ演劇研究」「演劇学文献研究」「映画学研究」を置く。

【文芸学領域】日本文学、英文学を除く文学・芸術（美術史）の諸領域に加え、それらと関連する外国語（フランス語）、メディアや文化・思想・社会に関する高度な専門的知識と広い視野からの研究能力を育成するために「芸術論基礎研究」「比較芸術研究」「比較文学研究」「比較文化研究」「歴史文化研究」「現代文化研究」「文芸とメディア研究」「文化とメディア研究」「文芸学特講」を置く。

古代日本文学研究Ａ(散文)
古代日本文学研究Ｂ(韻文)
中・近世日本文学研究Ａ(散文)
中・近世日本文学研究B(韻文)
近代日本文学研究Ａ(散文)
近代日本文学研究B(韻文)
日本語研究A（古代語）
日本語研究Ｂ（近代語）
漢文学研究
書誌学研究
日本文学基礎研究Ａ(古代文学)
日本文学基礎研究Ｂ(近代文学)
英語学研究A
英語学研究B
イギリス文学文化研究A
イギリス文学文化研究B
アメリカ文学文化研究A
アメリカ文学文化研究B
英語文学批評研究A
英語文学批評研究B
劇文学論
中・近世日本演劇研究
近・現代日本演劇研究
英米演劇研究
ヨーロッパ演劇研究
演劇学文献研究Ａ(中・近世日本演劇)
演劇学文献研究B(近・現代日本演劇)
映画学研究
芸術論基礎研究A
芸術論基礎研究B
比較芸術研究A
比較芸術研究B
比較文学研究A
比較文学研究B
比較文化研究A
比較文化研究B
歴史文化研究A
歴史文化研究B
現代文化研究A
現代文化研究B
文芸とメディア研究A
文芸とメディア研究B
文化とメディア研究A
文化とメディア研究B
文芸学特講ⅠA
文芸学特講ⅠB
文芸学特講ⅡA
文芸学特講ⅡB
文芸学特講ⅢA
文芸学特講ⅢB
文芸学特講ⅣA
文芸学特講ⅣB

古代日本文学研究Ａ(散文)
古代日本文学研究Ｂ(韻文)
中・近世日本文学研究Ａ(散文)
中・近世日本文学研究B(韻文)
近代日本文学研究Ａ(散文)
近代日本文学研究B(韻文)
日本語研究A（古代語）
日本語研究Ｂ（近代語）
漢文学研究
書誌学研究
日本文学基礎研究Ａ(古代文学)
日本文学基礎研究Ｂ(近代文学)
論文英語ライティングⅠ
論文英語ライティングⅡ
英語学研究A
英語学研究B
イギリス文学文化研究A
イギリス文学文化研究B
アメリカ文学文化研究A
アメリカ文学文化研究B
英語文学批評研究A
英語文学批評研究B
劇文学論
中・近世日本演劇研究
近・現代日本演劇研究
英米演劇研究
ヨーロッパ演劇研究
演劇学文献研究Ａ(中・近世日本演劇)
演劇学文献研究B(近・現代日本演劇)
映画学研究
芸術論基礎研究A
芸術論基礎研究B
比較芸術研究A
比較芸術研究B
比較文学研究A
比較文学研究B
比較文化研究A
比較文化研究B
歴史文化研究A
歴史文化研究B
現代文化研究A
現代文化研究B
文芸とメディア研究A
文芸とメディア研究B
文化とメディア研究A
文化とメディア研究B
文芸学特講ⅠA
文芸学特講ⅠB
文芸学特講ⅡA
文芸学特講ⅡB
文芸学特講ⅢA
文芸学特講ⅢB
文芸学特講ⅣA

論文英語ライティングⅠ
論文英語ライティングⅡ

共通科目

CP1
大学院に求められる「幅広く深い学識の涵養」「豊かな学識を養うための複合的な履修」の重要性に鑑み、研究遂行の基盤となるべき高い研究能力を獲得できるように「文芸学研究法」を置く。

文芸学研究法

DP1との関連性が
とても高い科目

DP2との関連性が
とても高い科目

DP3との関連性が
とても高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1
本研究科の人材養成目的を的確に把握し、それに基づいて主体的に学修・研究を遂行し、その成果を社会に還元する意欲を有している。

AP2
文学・芸術・メディアおよびそれらと関連する文化・思想・社会の学修・研究に要する学力・知識・技能を有している。

AP3
自己の研究課題の学術的および社会的な意義を認識し、これを論理的に提示できる能力を有している。

AP4
他者の考えや価値観を尊重しつつ、他者と主体的に関わることによって協働関係を作ることができる。

※各科目は「カリキュラムマップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。